

令和6年5月 教育委員会会議録

〈 開会 10時00分 〉

開 催 日	令和6年5月23日（木）10時00分～11時40分		
開 催 場 所	半田市役所 庁議室		
出 席 委 員	教 育 長 鈴 川 慶 光 委 員 新 美 大 委 員 正 村 日 登 美	委 員 桂 優 子 委 員 久 米 宏 和 委 員 堀 崎 隆 資	
説 明 の た め 出 席 し た 職 員	教 育 部 長 森 田 知 幸 主 任 指 導 主 事 木 下 稔 章 給 食 セ ン タ ー 所 長 榊 原 秀 夫 ス ポ ー ツ 課 長 加 藤 計 志 博 物 館 長 関 正 樹	学 校 教 育 課 長 内 藤 誠 指 導 主 事 高 下 隆 史 生 涯 学 習 課 長 青 木 美 希 図 書 館 長 藤 井 寿 芳 新 美 南 吉 記 念 館 長 遠 山 光 嗣	
事 務 局	学校教育課総務担当主査 羽根 広		
報 告 事 項	■議案 （１）「新学校給食センター建設工事変更契約の締結」及び「半田市学校給食センター設置条例の一部改正」について ■報告事項 （１）寄附、後援願等について （２）令和5年度重点取組事項に対する取組及び評価について （３）児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について （４）スポーツ×農業×アートの複合イベントの開催について （５）半田市図書館協議会委員の任命について （６）各種事業について ①ロビーコンサート（半田市役所、瀧上工業雁宿ホール）の開催について ②「私はピアニスト♪ ～ステージでピアノを弾いてみよう～」の開催について ③「Go for it! -HANDA SPRING MATCH-」の開催について ④「第1回音楽マルシェ」の開催について ⑤「ちいさなコンサート」の開催について ⑥「聴いて！知って！楽しむ！大人の音楽授業（第1回）」の開催について ⑦「ファミリー・プログラム「パック」fromスコットランド」の開催について ⑧「としょかんまつり」について ⑨亀崎図書館「おたのしみ会」について ⑩企画展「全国鉱物採集の旅」について		
各課事務連絡	特になし		

＜議事録＞

1. 前会の会議 録の承認	(事務局) 4月定例会の会議録について概要説明 (桂委員) 9ページの私の発言について、「地域への思いがない」とあるが、「地域」というものにイメージがわからない」の意味で発言したものであるため、修正してください。 (堀崎委員) 6ページの私の発言について、「通級の授業を公開する」とあるが、公開することは利用する児童生徒の理解が必要なこともあり特に希望するものではなく、「学校訪問の要項に通級教室の概要を載せてほしい」という思いで発言したものであるため、修正してください。 (事務局) 承知した。 (教育長) 2点修正してホームページで公開する。
2. 教育長報告	(教育長) 4月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。 4月25, 26日は東海北陸の、5月9, 10日は全国の都市教育長会議に出席した。各地区の実践を聞いたり、交流したり、情報交換したりといい機会だった。 これらの会議であったり、PTA連絡協議会であったり、組織のあり方について考える機会が多くあった。改善を検討していかなければならないことがあるのは理解するが、大事な部分もあると思う。 一つの例として、最近、名古屋で複数の学校のPTAが名古屋市のPTA組織から脱退したという報道があった。特に上部組織は直接子どもたちに関わることが少ないので、組織に加入している意味を見出せないという考えも理解できるが、大きな組織として教育委員会や学校に陳情したり要望したりすることで変わることもある。教育においても、制度的なことが変わる際には、組織からの声は確実に後押しになっていると思う。また、会議等の場において同じ立場の人たちと情報共有ができたり、ネットワークが広がったり、大事なこともたくさんあると思うが、組織離れがいろいろなところでも聞かれるのは寂しい。 20日の新美南吉顕彰会の理事会においても、矢勝川の彼岸花を守る会として、矢勝川堤防の草刈りをしたり、子どもたちと球根を植えたりしている会員が大島さん1人になっているとの話があった。大島さんと話したところ、「定年退職した人は地域にたくさんいるが、こういったボランティア的な気持ちを持って、地域を支えていこうという人がいなくなった」とのことだった。本当に頭が下がる思いだ。

	教員不足についても、教員免許を持っているが、教員をやらない人が多く、同じ状況だと感じた。今まで、みんなで支えて合ってやってきたことが、自分を大事にすること、自分を優先することが大事だとされ、それは否定するものではないが、あまりにも個を大事にし過ぎる世の中の風潮があると感じる。 28日、鉄道少年団の入団式に参加した。今年は3人入団し、細々とではあるが、長く続いている。思いのある大人たちが、何とか継続してきたいとがんばっておられる。 29日、全知多茶道連盟の茶会が常楽寺で開かれた。以前はそれぞれのお茶の先生が主催して、生徒が手伝って開催していたが、先生や生徒の減少等により運営がままならず、知多全土で流派も超えて協力しながら2年に1回やることになって現在に至るよう。組織を継続するのが難しいとの話もあった。 13日、学校訪問が青山中学校からスタートした。今日までに板山小学校と亀崎小学校も含めて3校終わった。各学校とも新しい取り組みにチャレンジしながら、子どもたちが自ら学ぶ授業として、今までの教え込む形の授業からの脱却に取り組んでいると感じている。 一方で、現職教育としてテーマを持って多くの先生が取り組んでいる中で、今まで通りの形で授業をしていると感じる先生もあり、学校全体で取り組むことの難しさを感じた。今までのような一斉授業として、先生が子どもたちに知識を伝える、教えることも必要だが、今後は、子どもたちが自ら学び方を学ぶような取り組みが必要になってくると思う。
3. 議題 ■議案 1)「新学校給食センター建設工事変更契約の締結」及び「半田市学校給食センター設置条例の一部改正」	(給食センター所長) 1点目の「新学校給食センター建設工事 変更契約締結に係る議案」については、前回の定例教育委員会で説明した特例措置に基づくものである。この変更契約に要する予算が5月臨時会で可決されたので、今度は契約締結に係る議案を6月定例会に上程する。 2点目の「半田市学校給食センター設置条例の一部改正に係る議案」については、9月から学校給食センターが移転して、名称を改めることから、名称及び位置を定める設置条例第2条の規定について、改正をするもの。 (教育長) では、ただいまの提案のとおりとしてよろしいか。 (全委員) 異議なし。 (教育長) 承認いただいたので、この内容で議案として提出してください。

■報告事項 1) 寄附、後援 願等	(学校教育課長) ・ 寄附 2 件 ・ 共催 1 件 ・ 後援名義使用許可 24 件
2) 令和5年度 重点取組事項に 対する取組及び 評価	(主任指導主事) 各小中学校および幼稚園で昨年度末に重点取組事項に対する活動を振り返り、各項目A～Dの自己評価を行ってもらった。その自己評価を教育委員会が4点満点で点数化して集計し、項目ごとに「幼稚園」「小学校」「中学校」全体の平均値を出した。評価の基準は、3.5以上をA評価「十分達成している園・学校が多い」とし、3.0以上をB評価「概ね達成している」とした。さらに、2.5以上をC評価「不十分なところがある」とし、2.5未満をD評価「課題が顕著である」とした。 「幸せになるための教育」の実現に向けた取組については、令和5年度から新たに加えた。小学校、中学校ともに評価はB「概ね達成している」となった。令和5年度は市政記念日である10月1日からの1週間を幸せについて考える期間とし、その名称を公募により「半田ハッピーウィーク」と名付けた。各校の公開授業では、令和4年度に引き続き工夫した実践を積み重ねることができた。幼稚園、小中学校では、こういった取組を通じて、教育活動の中で幸せやウェルビーイングなどを改めて意識することにつながってきている。今後は、こういった意識が日常的なものになっていくように取組を重ねていくこと、保護者や地域との連携など取組を広げていくことをさらに充実していく必要があると考える。 「ふるさと半田、地域」に関する項目については、幼稚園ではコロナ対応が変わったことにより、地域の人材や環境などを積極的に活用できたことで高い評価となっている。小中学校では、総じて高い評価となっているが、「郷土学習の推進」の項目については、中学校では、コロナ対応が変わった後も一部の学校では活動への課題が残り、低い評価となってしまうこともあったよう。 「命など、知徳体の徳」にあたる項目については、幼稚園・小中学校ともに、様々な活動を通して自他のかけがえのない命を大切にする気持ちを高められるような取組を継続して行っている。この項目では特に、実体験や関係機関との連携・協力が成果に結びついている様子がうかがえる。今後もさらなる充実に向けて、教員同士の情報交換などにより、子どもたちが安心して生活できる園や学校づくりに努めていく。 「キャリア教育など、知徳体の知」にあたる項目については、幼稚園では、ごっこ遊び、手伝いなどを友達と共に行う中で、気付きや達成感などを大切に、将来への夢やあこがれの気持ちを膨らませることで高い評価になっている。小中学校では、「キャリアパスポート」の活用やタブレット端末などのICT機器の活用をとおして、「キャリアABCD」の獲得、「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めることができた。昨年度「キャリア教育ABCD」の内容を見直したので、その理解、浸透を図っていくことが課題となる。

「体、生活習慣など、知徳体の体」にあたる項目については、幼稚園では、子どもたちの興味に合わせた戸外遊びや運動遊び、リズム遊び、栽培・収穫・調理活動などの実体験をとおして、心身ともに健康な子どもの育成に努めている。家庭の状況によっては、実践することが難しいところもあるため、連携の方法については、今後も内容をしっかり伝えていくことが重要となる。小中学校では、校内で共通理解を図った上で、日常的に基本的な生活習慣の指導を行ったことで、成果を上げている。中学校の部活動移行の流れの中で、運動する機会の減少とならないように、活動機会の確保を行っていくことが課題となる。

続いて、幸せになるための教育について取り組んだ内容をまとめた。いくつかの具体的な方策を行っていくことにより、令和5年度のまとめでは、小中学校の82.41%の児童生徒が、「幸せについて考えることができた」と回答している。また、87.88%の教職員が、「子どもの幸せを意識した教育活動に取り組むことができた」と回答している。今後も、具体的な取組をさらに進めることにより、教職員と児童生徒の意識をさらに高めていきたい。

これらの評価を受けて、令和6年度に各小中学校に示した今年度の「幸せになるための教育」を進めていく取組の依頼も作成した。

（正村委員）

郷土学習の推進について、中学校がC評価となっている点が気になった。中学生が地域の活動に参加するなどして、郷土愛を育むことは大事。義務教育の間にどれだけ地域の活動に携わったか、知っているかが、10年、20年後の地域力に影響するのではないか。

例えば、土曜日でも学校に通っていた頃の話だが、祭りの日はいつもより早く帰れた。そして、先生が子どもたちに「今日は祭りがあるから行くように」と声かけしていたこともあった。こういった声かけにより、地域にあまり関わっていない親の家庭であっても、子どもが地域の行事等に参加するきっかけになっていた。祭りなどの地域の組織だったり、部活動だったり、そういった集団で学ぶことはたくさんあった。冒頭の教育長の話にもあったが、個を大切にすあまり、これらの大切な活動が過去のものとならないか心配。

教育委員会にできることとして、学校からも、10年、20年後の子どもたちや地域の幸せに繋がっていくことを期待して、地域のことを伝えてほしい。

（主任指導主事）

郷土学習の推進がCとなっている要因は、5中学校がB評価だったが、分校がC評価だったことが大きい。分校は、さまざまな地域から子どもが集まってきたので、地域に根ざすことが難しい。また、5中学校においても、コロナ後の地域との繋がりについて、元に戻すのではなく新しく形に組み直すと言いつつ、簡素化するような形になっているところがあると感じる。地域との関わりを維持・発展できるよう各校にも呼び掛けていく。

（堀崎委員）

教科担任制の推進について。以前、教科指導員の配置を考えてほしいとお願いした。それは、苦しんでいる先生がたくさんいて、私が特別支援教育相談員として巡回で教室に入ることによって悩みを打ち明けてくれたりして、学級の経営改善に繋がっていくことを体験しているから。教科担任制も大事だが、継続して支援に入ってくれる先生の存在は大きい。今年度は、相談員の勤務時間数を増やしてもらったので、相談員が教科指導員に代わることができると思うが、将来的には配置してほしい。授業力を上げるためには、指導員は必要だと思う。例えば、定年延長に伴って管理職でなくなった先生方を充てるなどしてもいい。

（主任指導主事）

教科担任制については、学級だけで抱え込まない、広い視野での教育に繋がるものとして充実させている。教科指導員については、一斉授業からの脱却を図り新たな指導方法が進められていく中で、授業力を高めることについて検討する一つの案として考えたい。

（桂委員）

幸せ教育について、板書データの蓄積がたくさんあることは分かったが、データはどのように保存されているのか。イメージがつかないので教えてほしい。

（主任指導主事）

先生方が閲覧できるフォルダの中に、年度、教科名、学年毎に整理されて板書データが保存されている。指導者は、板書を見ると、どのような流れで授業をやったかある程度想像できるので、板書を見て授業に生かしてほしいと考えている。ただ、今はデータを集めている段階であり、今後の活用方法については課題として認識している。

（桂委員）

先生方が、見たい板書を探ることができるか疑問に思った。例えば、校長が自分の学校から1つ、「校長が気になる幸せ教育の板書」として抽出してお勧めしたり、板書データ名に担任の先生の名前を入れることで尊敬する先生の板書を探せるようにしたり、「今週の気になる板書」として定期的に通知したり、いろいろなやり方があると思うが、先生方が関心を持っていただけるよう活用してほしい。

（主任指導主事）

見やすさ、探しやすさなど工夫していくことで、まずは動機付け、興味付けを考えていきたい。関心が高まってくると、もっと他に面白い板書はないかと探しに行くと思う。貴重なご意見として参考にさせていただく。

	(久米委員) 学校でのアンケートの取り方だが、学年、クラス毎の集計があつて、それらの平均値として算出されているものなのか。あるいは校長や教頭の客観的な評価なのか。学年やクラスによって、結果がだいぶ異なると思うが。 (主任指導主事) 特にアンケートの取り方は指定していない。各学校の集計方法によるので、学年、クラス毎の集計については、ある学校とない学校があると思われる。いろいろなデータ等を総じて学校の評価としている。児童生徒分については、タブレットでアンケートを実施している。低学年についても工夫しながら実施している。 (指導主事) 学校評価アンケートは必ず全教職員が回答しているので、それらの結果を参考に、校長や教頭がまとめていると考えられる。 (主任指導主事) 個々の評価を元に学校としての評価を出していると思われるが、改めて現場の評価を吸い上げて反映するよう学校にもお願いしていく。
3)児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	(指導主事) 令和6年4月20日～令和6年5月20日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：3件 4月24日(水) 1件 5月 1日(水) 1件 5月10日(金) 1件 問題行動(被害)等：12件 4月11日(木) 1件 4月16日(火) 1件 4月17日(水) 1件 4月23日(火) 2件 4月24日(水) 1件 4月29日(月) 1件 5月 6日(月) 1件 5月 7日(火) 1件 5月14日(火) 1件 5月15日(水) 2件 交通事故以外の事故：3件 4月26日(金) 1件 5月 8日(水) 1件 5月15日(水) 1件

	学校等被害：０件 不審者情報：０件 (正村委員) 感情のコントロールが難しい子どもについて、ある病院では暴れてもいい個室が用意されていた。いったん、この部屋に入って自分を落ち着かせるためのもの。自分でもイライラしてきたことが分かる子たちもたくさんいて、こういった子が問題行動と言われるような行動をする前に自分を落ち着かせることができるような部屋が学校にもあるといい。本人が一番苦しいはずであり、こういった部屋があることで楽になる子もいると思う。 (堀崎委員) すでにそういった部屋を設けている学校もある。とても大切なこと。感情のコントロールや相手に自分の感情を伝えることについては、小学生のうちに力をつけておくことが大事だが、支援の方法を知らない先生も多い。先生も困っている。８月の教職員研修会でも講師として講座を受け持つので、そこでこれまでの経験や技術を伝えたい。 (桂委員) 発達の特性により、いろいろなことに敏感な子たちは、普段からものすごく我慢をしているという見方もできる。それを理解して、そういった視点で見ると、彼らへの関わり方も変わってくると思う。 また、幼稚園や小学校など小さいころから丁寧な関わりが必要。子どもへの支援はもちろんだが、親へのサポートとして、特性のある子どもに対して親がどう関わるかを学ぶ機会も必要。 (教育長) 特別支援教育については、特別支援学級の先生方だけでなく、通常学級の先生方にも研修の機会を設けているが、今後もさらに充実してやっていく。
４）スポーツ×農業×アートの複合イベントの開催	(スポーツ課長) 今週末、２６日（日）に市役所北側のごん吉くん広場で開催する。 スポーツの分野では３×３バスケット大会を、小学生、中学生、一般の部の３部門で実施。農業分野では農業マルシェ等で農産物の販売や農産物に係るグッズなどを販売、また、生涯学習課を中心にライブイベントスペースを設け、応援グッズ作成のワークショップなどを展開する。 時間は１０時から１６時まで。雨天中止。 先週の火曜日、５月１４日（火）にはラジオ FM AICHI でもイベントを取り上げていただき、市役所の館内放送でも流した。 (生涯学習課長)

	この3×3バスケットボールを応援するという形で、アートのイベントを開催する。応援することをテーマに、応援グッズとしてオリジナルのメガホンを作ったり、フェイスペイント、参加型のライブペイントなどで盛り上げていく。 また、音楽についても、練り歩きということでパンダさんとすずきのやすひとさんがアコーディオンやギターで盛り上げてくれるので、楽しみにしてほしい。
5) 半田市図書館協議会委員の任命	(図書館長) 図書館協議会は、図書館法に基づき設置され、図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、図書館方針、いわゆる市民サービスについて、館長に意見を述べる機関になります。 委員については、半田市の図書館条例に規定されているとおり学校教育および社会教育の関係者等から半田市教育委員会が任命することとしている。本年度は改選の年になり、新任7名、再任3名の計10名を委員として任命する。 なお、任期については、同条例により令和6年6月1日から令和8年5月31日までの2年間となる。
6) 各種事業 ①ロビーコンサート（半田市役所、瀧上工業雁宿ホール）	(生涯学習課長) 5月24日（金）に半田市役所で、6月8日（土）に瀧上工業雁宿ホールで開催する。昨年度から始めた半田市医師会でのロビーコンサートも、11月に開催予定。
②「私はピアニスト♪ ～ステージでピアノを弾いてみよう～」	(生涯学習課長) 別添チラシのとおり。
③「Go for it! -HANDA SPRING MATCH-」	(生涯学習課長) (報告(4)で説明のとおり)
④「第1回音楽マルシェ」	(生涯学習課長) 6月2日（日）に、普段触れる機会の少ない楽器体験を通して子どもたちに音楽に触れる楽しさを感じてもらい、音楽に興味関心を持ってもらうことを目的に初めて開催する。 市内のマツイシ楽器店と山本楽器とも連携し、企画から当日の運営を一緒に行う。 また、半田高等学校の吹奏楽部、半田中学校の吹奏楽部、半田市民吹奏楽団と連携して、ステージイベントで盛り上げていただく。 他にも赤レンガ建物を中心に、芝生広場や隣のハウジングセンター敷地でもワークショップや音楽イベントを行い、あらゆる視点から音楽を楽しめるといいと思っている。 また、キッチンカーの飲食ブースも設けるなど、音楽以外の要素も取り

	入れて、いろいろな切り口から集客を図っていく。今後も音楽のあるまちづくり事業として継続して開催したいと考えている。
⑤「ちいさなコンサート」の開催について	(生涯学習課長) 別添チラシのとおり
⑥「聴いて！知って！楽しむ！大人の音楽授業（第1回）」	(生涯学習課長) 別添チラシのとおり
⑦「ファミリー・プログラム「パック」from スコットランド」	(生涯学習課長) 8月7日（水）に瀧上工業雁宿ホールで開催する。スコットランドの方による好奇心と遊び心あふれる楽しいパフォーマンスとなっている。
⑧「としょかんまつり」	(図書館長) 7月13日（土）に本館で開催する。多くの市民の方々に、ボランティアで図書館に関わっている方々の活動を知っていただき、それと同時に図書館にも関心を持っていただくことを目的に開催するもの。 今まで感染症の影響で定員制限していたが、今回から制限を取り払いどなたでも気軽に参加いただける催しにする。
⑨ 亀崎図書館「おたのしみ会」	(図書館長) 6月23日（日）に、としょかんまつりと同様に、団体と協働で、どなたでも参加いただけるものとして開催する。
⑩企画展「全国鉱物採集の旅」	(博物館長) 6月22日（土）から9月1日（日）までの間、半田市出身の鉱物収集家、猪飼(いかい)一夫(かずお)氏が、全国の鉱山や鉱山跡などで収集した鉱物コレクションの中から、都道府県別に厳選した約200点の鉱物標本を展示する。 当初は企画展の名称を「美しい鉱物の世界」としていたが、猪飼氏が全国のフィールドを駆け巡り調査を行った当時の貴重な記録資料などもあわせて紹介することもできるので、名称を「全国鉱物採取の旅」として開催する。 鉱物の色や形など自然の造形美を楽しみながら、フィールド調査や鉱物採集の魅力、猪飼氏の鉱物に対する並々ならぬ情熱を感じていただきたい。展示する鉱物の中には、鉱山が閉鎖されて今では入手が難しい貴重な鉱物標本もある。 また、企画展期間中に博物館に来ていただいた方には、博物館オリジナルの鉱物カードをプレゼントする。

各課からの事務 連絡	(教育部長) 昨日夕方、新学校給食センターの工事現場で事故があった。 ユンボによりワイヤーでU字溝を吊るして運ぶ途中で落下し、それが当たった作業員1名が両足を骨折するケガを負った。 工事はいったん中止し、安全対策が確認され次第再開する。現時点では全体の工期には影響ない。
教育委員からの 意見提言等(1)	(桂委員) 5月16日に愛知県市町村教育委員会連合会理事会に出席した。意見交換の場で、不登校とコミュニティ・スクールが話題になった。半田中学校で今年から始まった校内教育支援センターが他の市でも始まっている一方で、立ち上げようとしたものの人員を配置できず断念した市もあるよう。ある市の教育委員で、以前スクールカウンセラーもしていた方が、今は教室を持って不登校の子たちの面談をしているそうだが、家から出られない子をどうするのが課題とのことだった。保護者も子どもも孤立してしまい、フォローが難しく、試行錯誤しながら対応していると聞き、どこの現場でも苦労されており、個々によって千差万別の対応が必要と再認識した。子どもが笑顔で過ごせないと、先生、親、地域の大人、みんなつらい。なんとか手立てができるといい。 好事例として、内海高校の雰囲気がいいとの話があった。定員割れしており、1クラス当たりの人数が15人程度であるため、一人一人に目配りができ、子どもが生き生きして楽しそうに過ごしていたとのことだった。自分のことを大切にしてもらえていると感じられるといいと思った。
教育委員からの 意見提言等(2)	(堀崎委員) 「教員研修の手引き」という冊子があるが、学校訪問へ行くときに参考にしたいので、提供いただけないか。 (教育長) 教育委員にもぜひ見てもらいたいものであり、みなさんの分を用意する。
次回開催等	(事務局) 6月定例教育委員会 日時：6月27日(木) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室 (教育長) 5月定例教育委員会を終了する。

〈 閉会 11時40分 〉